

## 「スーパージュニア選手育成プログラム 2018」トライアル

今年も「スーパージュニア選手育成プログラム」へ向けて、未来のアスリートを目指す小学生が元気にトライアルにチャレンジしました。

「スーパージュニア選手育成プログラム」とは、トライアルで選考された約 50 名が、一年間を通してさまざまなスポーツを体験するもので、自分にあった競技ややりたい競技を見つけてもらうことを目的の一つとしています。

今年の平昌オリンピックでの日本選手の大活躍や、東京オリンピックが2年後に迫り、スポーツへの関心がますます高まる中、参加した選手の中から、未来の広島県代表、日本代表のアスリートが育ってくれることを期待しています！

トライアルに参加したのは、応募があった県内の小学 5・6 年生約 200 人。

5 月 19 日(土)、20 日(日)に広島会場、5 月 27 日(日)に福山会場の 3 日間で開催されました。



広島会場



福山会場



開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県体育協会 武鍵守 強化副委員長が「心身共に成長著しいこの時期に、体験プログラムや専門プログラムを通して、いろいろなスポーツを体験し、その中から自分にあったスポーツを見つけてほしい。」とあいさつしました。

また、広島県スポーツ推進課の 小原博文 課長は「このプログラムで、さまざまなスポーツのおもしろさ、魅力を見つけて、オリンピックアスリートという大きな夢のきっかけとしてほしい。」と激励しました。



まず、全員で準備運動を行って体をほぐした後、測定を開始しました。

今回の測定は、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、40m走、ソフトボール投げ、20mシャトルランの 6 種目です。

各測定とも、参加したジュニア選手の皆さんは真剣な表情で、全力で取り組んでいました。ソフトボール投げで体育館の壁に当てる遠投や、100 回を超えるシャトルランなどの好記録が出ると、他の参加者や保護者、スタッフから拍手と歓声が上がりました。

また、思うような記録が出せず、悔し涙をこぼす選手の姿も見られました。



準備運動



上体起こし



立ち幅跳び



長座体前屈



40m走



ソフトボール投げ



20m シャトルラン

今回のトライアルにより、次の体験プログラムに進む約 50 名を選考し、各選手の記録とともに選考結果を参加者全員に通知しました。体験プログラムは、6月から始まり、計5回のプログラムが実施される予定です。トライアルに合格した約 50 名に加え、昨年度の体験プログラムに参加した 5 年生(現 6 年生)で希望されたジュニア選手が参加できます。

また、関係競技団体による専門プログラムも実施が予定されています。これは体験プログラムで実施した競技をさらに継続してやりたい場合や、体験プログラムに進むことができなかったトライアル参加者も参加できるもので、何回でも、どの競技にも参加できます。

今回は、この専門プログラムを実施する競技団体のうちスピードスケート、ウエイトリフティングの担当者によるプレゼンテーションも行われました。プレゼンテーション後には興味を持った参加者が、実際にその道具や機材を手にとり体験する姿が見られました。

皆さん、いろいろなスポーツに挑戦してください。きっと、自分にあったスポーツに出会えると思います。



スピードスケート



ウエイトリフティング

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAM サポート株式会社のトレーナーの皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島女学院大学、広島文教女子大学、福山平成大学の学生の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

